



明治大学校友会  
福岡市地域支部だより

明治大学校友会福岡市地域支部事務局

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通4-1-2

セントラルホテルフクオカ内

TEL 092-712-1212

# 風のふくおか

28号

2011年7月

## 明治大学 創立130周年



第47回 全国校友東京大会  
2011年11月3日(祝・木)

## 支部長挨拶 福岡市地域支部 支部長 小川 弘毅

日頃より明治大学、明治大学校友会にご支援、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

皆さま方もご承知のとおり平成23年3月11日、東北地方太平洋沖で未曾有の大地震が発生し、東日本に甚大な被害をもたらしました。

大震災によって多数の尊い命が失われたことに、深く哀悼の意を捧げるとともに、被災された皆さまへ心からお見舞い申し上げます。

震災で母校明治大学関係でも、多くの校友や現役学生、そのご家族の方々が被害に遭われています。福岡市地域支部としては、緊急の幹事会を開催し、被災者に対する支援として、義援金を募ったところ、総額133万円ものご寄付が集まりました。

ご協力いただきました義援金は、大学が募っております被災した明治大学学生への奨学金及び生活支援金等として使用される「明治大学被災学生支援義援金」にお送りさせていただきました。



多くの方々にご賛同いただき、厚くお礼申し上げます。

さて明治大学校友会では、『明治はひとつ』というスローガンを掲げています。このような非常時であればこそ、お互いの絆を一層深め、学生、父母、教職員、校友が一丸となって前へ進んでいかなければなりません。

福岡市地域支部としても、『明治はひとつ』という気持ちを、校友の皆さんと分かち合い、我々九州から元気を発信していきたいと考えています。そのためにも、支部活動に一人でも多くの校友に参加していただき、校友の皆さんの親睦と交流を一層推し進め、今我々が出来るさまざまな活動に取り組み、福岡市地域支部がさらに活性化するよう尽力してまいります。

最後になりましたが、母校明治大学の益々の発展と校友の皆さまの一層のご健勝とご多幸を祈念いたしますとともに、被災された方々の安全と一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

## 東日本大震災により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

この度の東日本大震災に関して、私達福岡市地域支部では義援金の募集を行いました。

4月7日に、セントラルホテルにて約10名で作業を行い、11日に義援金依頼の文書1054通を郵便局より発送を完了しました。

お陰様で130名の校友の方々より133万円が集まりました。(7月15日現在)

本当にありがとうございました。

また大学のホームページで「被災学生・入学予定者への経済的支援について」の金額が具体的に発表され

ておりますので以下アドレスよりご確認ください。  
[http://www.meiji.ac.jp/campus/shougaku/application\\_up/2011/2011earthquake.pdf](http://www.meiji.ac.jp/campus/shougaku/application_up/2011/2011earthquake.pdf)



## 石巻ボランティア活動記(東日本大震災の被災地で)

今井 葉子

6月22日～25日までの4日間、石巻でボランティア活動を行いました。

きっかけは昨年11月に来福されたドイツ国際平和村の専属カメラマン・ウリ氏の講演と、今年2月にハイチ大震災の写真展に足を運んだ事でした。同じ地球(ほし)のどこかでおきている惨事を、どこか遠い世界の事ではなくもっと身近にリアルに感じるために、いつか何処かに行かなくてはと実感していた矢先の今回の震災でした。とりわけ、石巻には2年前に訪れた事があり、その時親しくなった友人もいたので、あの

衝撃的な津波の映像を見た瞬間に「石巻に行こう!」と強く思ったのでした。

当初はボランティアセンターに個人登録し、センター敷地内にテントを張って活動するつもりでしたが、出発直前に縁あって「みなと応援村」というボランティア団体にお世話になる事になりました。「みなと応援村」は被災されたある方が、ボランティア活動をする人のために宿泊所としてご自



宅を提供してくださった事に始まり、石巻の湊町地区を中心に近隣の方々からの依頼を受け活動をしています。

出発前はかなりのサバイバル生活を想定して向かいましたが、幸いにも宿泊所はライフラインも全て復旧し、近くには自衛隊が設営する立派なシャワー施設もあり、さほど不自由なく4日間滞在できました。

1日の滞在時間は主に9時から16時。適度に休憩や水分補給を行いながら活動します。服装は防塵マスク、ゴーグル、厚手のゴム手袋を装着し、鉄製インソールの入った長靴を履きます。作業は主に津波で流されてきた物の片づけやヘドロかきです。私は4日間で2日間半を近くのリサイクルセンターの工場、その他を水産加工所、神社、一般家庭で行いました。



根こそぎさらわれた石巻の街

人手は日によって多少の差はあるものの、皆で行くと明らかに目に見えて成果があり、リサイクルセンターでは運転再開の場面にも立ち合う事ができました。その時、リサイクルセンターの30代

半ばの社長さんは「今日がゼロからのスタート！とにかく頑張る！」と熱い目で意気込みを語っていました。

初日、活動を終えて石巻が一望できる日和山公園に登りましたが、そこで見た光景には言葉を失いました。

かつてそこにあったらう町は根こそぎさらわれていました。改めて多くの尊い命が奪われた事を実感し目頭が熱くなりました。その後、下に降りてお線香と献花をしまし



がんばろう! 石巻

たが、そこには「がんばろう! 石巻」の大きな看板がありました。この言葉は石巻のあちこちで見かけ、再会した友人から後日送られてきたTシャツにもありました。活動から戻った今、私も「がんばれ」ではなく「(共に) がんばろう」という想いです。

私は何処に行ってもお酒に縁があるのか、応援村に滞在したお陰でほぼ毎晩地元の方々とお酒を酌み交わし、積極的な聞き取りはしなかったものの皆さんが語る被災時のいろいろな話を聞く事ができました。



スタッフの皆さん

初めてのボランティア活動で、行く前は本当に自分にも何かできる事はあるのか？と自信がありませんでしたが、現地ではお金もさることながらまだまだ多くの人手が必要だという事を実感しました。そして私の4日間の活動は全体から見たらわずかな小石を取り除いたに過ぎないほど復興に時間がかかるという事も実感しました。

余震や放射能汚染などの問題のある中、ボランティアに行く事を安易には勧められませんが、とにかく何らかの継続的な支援とその呼びかけを自分も含め一人でも多くの方に実践して行って欲しいと願います。

なお、今回の活動にあたって色々とお便りを下さった神永先輩ほか、心配や応援して頂いた方々にこの場を借りて御礼申し上げます。有難うございました。

今手元に震災の写真集を2冊持っています。できるだけ多くの方に目を通して頂きたいと思っていますのでご覧になりたい方は声をかけてください。次回がいつになるかは分かりませんが、出逢えた方々とのご縁を大切に、またいつか訪れたいと思います。

(H4経営卒 今井 葉子)

## 震災の時

私は福岡県宮若市にありますトヨタ自動車工場の稼働を管理している業務を行っており、3/11(金)の1直目の勤務が終わりに差し掛かった時、東北地方の大規模地震の連絡を受けました。

翌月曜日から工場のラインは停止し、全く動かさなくなっていました。トヨタグループをあげて被害状況の把握に取り組みましたが、工場の再開の



目処が立たない状況が続きました。現場では作業員がラインを前にして清掃や工程の改善をす

るしかなく、先が見えないことに焦りと不安が高まりました。

ようやく、他の工場の先頭を切って稼働を再開することとなりましたが、いつ部品の欠品が発生するのか手探りの中での再開となりました。私は、部品の欠品に備え、ラインを動かしては止め、また動かしては止めという方法で不安を感じながら工場の稼働を再開させました。仕入先と従業員が一丸となり稼働再開を目指した結果、大規模なラインストップもなく車の生産を再開できました。

私は現場で、1ヶ月ぶりにラインが動く音を聞き、ものづくりが出来ることへ安堵し、喜びを感じました。

(H17政経卒 古森 則光)

今年、明治大学は創立130周年を迎えました。大学ではこの1年を通して130周年の記念事業や施設計画、イベントなどを計画しています。さらに記念の全国校友東京大会が11月3日に行われます。東日本大震災のなか「がんばろう日本！負けるな東日本！共に力を合わせ前へ！」という思いでチャリティーなども行われます。母校の130周年を祝いながら、東日本の方々へも応援しましょう。

## 明治大学 130年の歩み

1881年	明治法律学校創立	1950年	短期大学設置（2006年閉校） 生田キャンパス開設
1889年	駿河台（南甲賀町）に移転	1952年	新制明治大学大学院設置
1903年	明治大学と改称（専門学校令）	1953年	経営学部設置
1911年	駿河台の現在地に移転	1980年	創立100周年イベント開催
1920年	正式な大学に昇格 （法・商の2学部を設置） 校歌制定	1989年	工学部を理工学部に改組
1923年	関東大震災で壊滅的被害を受ける	1998年	リバティタワー竣工
1925年	政治経済学部設置	2004年	情報コミュニケーション学部設置 専門職大学院設置
1928年	3代目（旧）記念館竣工		アカデミーコモン竣工
1929年	専門部女子部設置	2008年	国際日本学部設置 大学院情報コミュニケーション研究科設置 大学院教養デザイン研究科設置
1949年	新制明治大学発足 （法・商・政経・文・工・農の6学部を設置）		

## 130周年記念 東京大会のご案内

### 大会行事のご案内（抜粋）

2011年11月3日（祝・木）開催

#### 記念式典

【会場】駿河台キャンパス  
アカデミーホール  
【受付開始】11:30  
【式典開始】13:00  
【記念講演】14:30



記念講演  
「いつだって青春」  
講師 堀威夫（ほりたけお）  
（株）ホリプロ ファウンダー・最高顧問  
昭和10（1935）年商学部卒

#### 懇親会

【会場】帝国ホテル孔雀の間  
【受付開始】16:00  
【懇親会開始】17:30  
校歌斉唱  
協力：明治大学応援団  
【終了予定】19:30



#### 大会参加費

【校友】15,000円 【同伴者】14,000円

※式典及び懇親会の参加費です。

ご家族・ご友人と一緒にご来場ください。

**HONDA**

**PARTS**

## 株式会社 ホンダパーツ西南

Hondaの部品・用品の卸・販売会社

取締役会長 佐々木 義宣（昭和37年文学部卒・柔道部OB）

本社 〒816-0092 福岡県福岡市博多区東那珂3-2-12  
TEL 092-433-0433

営業所 福岡・北九州・大分・佐賀・香川・徳島・愛媛・高知

## 平成23年 新年交礼会

昨年末から例年にない寒波に見舞われた1月20日、恒例の福岡地域支部の新年交礼会がセントラルホテルフクオカで開催された。1月度としては約40年振りに平均気温を下回るほど寒い中、それでも約100名の校友が集い新しい年を祝った。

矢谷幹事長の進行のもと、まず小川支部長が挨拶され、この正月の期間ラグビーや箱根駅伝で明治大学の活躍を楽しませてもらった事などを話された。

続いて来賓の絹笠福岡県支部長が、うさぎ年は伸びる事が多いので大いにがんばりましょうと挨拶され、父母会の田中会長が「この4年間入学でホットして就職でハラハラです。子供達が会社訪問にきたら温かく迎えてほしい」と述べられた。

そして小倉地域支部の勢支部長の乾杯のもと懇親に入った。今回も10名近くの校友に初参加いただいた

たが、その中に競走部OBで箱根駅伝で走られた末次先輩（34年政経卒）が挨拶され「来年は絶対3位以内に入りますよ」と力強く話された。また、今年は選挙の年ということで地域支部在住議員の挨拶もあった。

懇親会の余興では、前回好評だったムカデゲームが行われ、明大グッズや農産物などの景品をめざしてのジャンケンに一喜一憂の歓声があがり、大いに盛り上がった。最後に父母会副会長で応援団OBの津島校友の音頭のもと、全員で校歌を斉唱して新年交礼会は終了した。



末次先輩(左端)と新入会員の方々

## 平成23年度 福岡県支部総会

平成23年度の福岡県支部総会がさる5月28日(土)に開かれた。今年は日程の関係で初めて福岡市博多区の「八仙閣本店」で開かれ、福岡県下から130名の校友と大学や父母会さらに韓国、台湾からの来賓の方々など計145名の参加者で賑わった。

総会ではまず先の東日本大震災で亡くなられた方々に黙祷を行った。続いて絹笠県支部長が明治校友の結びつきや絆の強さは日本人独自のDNAに基づいていると挨拶された後、議事に進み新役員の見紹介や事業報告、会計報告、予算案などが承認された。

来賓挨拶では大学側から政治経済学部長の大六野耕作先生が挨拶され、まず震災当日の生々しい話をされた。揺れが5分も続いた地震に仰天したがすぐ理事会が召集され対応を考えた。交通もストップしたその日は誰も帰れなかった。一般の人々にリハビリタワーを開け各教室を開放し、非常用の水、食料を提供した、など緊迫した内容を紹介された。そして、この震災で4年生の学生が一人亡くなられた事、被災した学生には物心両面で支援していく事などを話された。明大の近況では創立130周年の事や入学志願者が2年連続日本一になった事、明大に在籍しながら外国の大学も卒業できるダブルディグリー制の採用など、これからは質で勝負するという話をされた。

来賓として全国校友会副会長の辻 嘉右卫門氏、大学校友課課長高村 潤氏、県父母会から津島会長始め4人の幹部の方、さらに韓国支部から朴支部長、



會所長(前列右端)と台湾校友の皆さん(前列3人)

厳幹事長、台湾支部から鍾幹事長、何校友、林校友そして台北駐福岡経済文化弁事所の會 所長に出席いただいた。

朴韓国支部長は明大の留学生の中で半分は韓国からの留学生であり、韓国での父母会発足の話もあると話された。台湾の鍾幹事長は、台湾は若い校友が多いが福岡や韓国の皆さんにお世話になっていると述べられた。また、會 所長は東日本大震災に際して台湾は官民上げて支援をしており、その額は約66億円に達するなど、被災地区の一日も早い復興を心より祈っていると被災者にお見舞いを述べられた。

今回の県支部総会には、県下各地域支部からの校友の参加や若手校友の多数の参加が目立ち、懇親会では例年にない盛り上がりを見せた。一年に一度の他地域支部との交流で、各テーブルでは酒を酌み交わし話に興ずる校友、名刺交換をする校友などで賑わった。そして明大グッズの景品がもらえる「ムカデゲーム」では、一段とヒートアップして会場は大いに盛り上がった。

最後はいつものように肩を組み校歌を斉唱して会は終了した。



ムカデゲームで盛り上がりました

## 第24回韓国同窓会



明治大学韓国同窓会が6月4日（土曜日）に開催されました。例年、団長を務められる絹笠県支部長は日程が調整できず今年も欠席され、福岡県支部の上杉先輩が団長を務められることになりました。

今回の訪韓団には久留米支部の今村 健二 幹事長と、大牟田支部の高橋 徹 氏が初参加。また上杉団長との応援同窓会が静岡県支部の大石支部長夫妻も参加されるという多彩な顔ぶれでソウルに向け出発しました。

仁川空港到着後、バスでソウル市内に移動し食事と散策の後ホテルに到着、一息ついて着替え等を済まし同窓会場に向かいました。



挨拶される上杉団長

同窓会は、例年通りロッテホテル36階で17時より開催されました。今年は厳幹事長が急な仕事で欧州に出張中とのことであり少し寂しく感じていました

が、例年になく若手校友の参加が多く明るく元気な雰囲気を出していました。青年部長だった尹氏に聞くと、今年から新青年部長が就任し、頑張っ若手を集めたとの事でした。

来賓挨拶は向殿校友会長、土屋理事、上杉団長の挨拶と続き、最後に大石静岡県支部長が来年度の全国校友会静岡大会のPRと参加を呼びかけ、来賓挨拶は終了しました。

その後、別室で韓国支部幹事による役員改選が行われ新支部長に厳氏が選ばれた事が発表されました。厳氏は海外出張中のため受諾の可否は不明です（翌日、厳幹事長夫人にお会いした時にお聞きしたら「まだ早い」から・・・と言っておられました）が、皆様がこの支部便りを読まれる頃には、韓国支部の改選新支部長が決まっていると思います。



韓国の若手校友が目だちました

上杉団長による校歌斉唱を終え、懇親会が始まりました。テーブルに並べられたお酒を見てビックリ。ビール等と共にマッコリの瓶が並べられたのです。私にとってマッコリとは、鍾路あたり裏路地にある寂れた飲み屋のテーブルの上のベコベコになった薬缶に入って売られている安酒のイメージだったのですが、格式を重んじるロッテホテルで提供されるとは・・・。時代が変わったのか、日本でのマッコリブームを意識してのサプライズか？

酒が進むうちに、若手のテーブルから高橋氏らを囲み「乾杯」「乾杯」の賑やかな声が響いてきました。今まで、還暦近い私が福岡県支部の若手代表だと言いつらなければならない悲しい状況でしたが、高橋氏の参加により一気に20歳近くも若返ったものだから韓国支部の若手が喜ばないはずがありません。同窓会終了後は、韓国若手に拉致され高橋氏がホテルに戻ってきたのは夜中の2時だったそうです。

翌日は水原華城へ。韓国ドラマ「イサン」で有名な正祖大王が築いた城と言うことで、諸先輩はガイドさん



水原華城で

を質問攻め。私は4度目の見学でしたが、イサンが改革のために築いた城として見ると新たな感慨が沸いてきま

した。城見物の後は民族村を見学。皆が楽しい一時を過ごしている時間、高橋氏はバスの中でひたすら爆睡し、体力の回復に努めていました。

ソウルに帰るバスの中で高橋氏の携帯が鳴り、何やら飲み会らしき約束が・・・。韓国校友若手の中の兄貴分である金氏からの飲み会の誘いと。断らなかったところは、さすが明大育ち。夕方、皆で日韓若手交流促進のため高橋氏を送り出しましたが、帰って来たのは夜中の3時だったとか。二日連続、お疲れ様でした。貴方のおかげで今後10年間の日韓の若手の絆が約束されました。

新しい顔ぶれも加わり、数々のエピソードを残し、今回も楽しい旅行となりました。次は9月の台湾支部総会です。他地域支部にまけないよう、福岡市地域支部からも若手エース級の参加を期待しています。

(S52商卒 佐藤 洋)

## 福岡県父母会のご紹介

改めましてこんにちは 校友会県支部幹事の昭和61年卒 津島 潔です。

本年度より栄えある明治大学福岡県父母会の会長を務めさせていただきます。

昭和61年に本校農学部卒業し 親子共々明治大学にお世話になるようになりました。

この一年少しでも母校に恩返しができるように父母会会員皆様のご理解とご協力を頂き、頑張ってみますので、どうぞよろしくごお願い申し上げます。

さて、明治大学の父兄会会長は私がどの団体の役職よりなりたかった唯一の役職です。

当然のこと“子供が明治大学に入学しなければならぬ役職”だからです。

長女が生まれて早21年やっと父母会会長の役職に就くことができ、又ご存じの通り私は応援団リーダー部卒であり、長女は私の意志を継いで現在応援団チアリーダーの3年生として母校明治の為に日夜東奔西走しております。

過去の父母会を調べて見ますと、校友が福岡父母会の会長になるのは初めての事で、この機会を逃さ

ず、益々校友会との連携を深めて行きたいと思います。

最後になりますが、ご父兄の中には、明治大学が本命ではなかったご家族・たとえばW大学とかK大学とか、はたまた地元のQ大学とかいらっしやるかと思ひます。

しかし、卒業の時には子供さんが明治行って良かったと言って頂ける様、又ご父兄の皆様がたにも行かせて良かったといってもらえるようにするのが私の役目だと思っております。そのために、粉骨砕身頑張ってお参りますので今度ともご協力よろしくお願い致します。

(S61農卒 津島 潔)



校歌斉唱の音頭をとる筆者

## 九州明柔会に参加して

柔道の世界選手権（8月、パリ）代表最終選考会を兼ねた全日本選抜体重別選手権は、東日本大震災で開催が危ぶまれていましたが、予定通り4月2日・3日 福岡国際センターで行われました。それに合わせて4月2日九州地区の明大柔道部OBと福岡地区校友40数名の出席により、九州明柔会総会が開催されました。

総会では、ともに福岡地域支部校友である岩崎最高顧問（昭29卒）、神永会長（昭37卒）、佐々木副会長（昭37卒）の新体制が承認され、全明柔会関会長及び藤原柔道部監督より組織を再構築し学校・



OBの強力なサポートにより、全盛時の明大柔道部の復活に努力をしている

旨話がありました。そして昨年全日本学生大会は準決勝で敗退したが、今年は団体で優勝を目指していると力強く挨拶されました。

福岡校友会代表として峯重先輩により、現役時代の剣道部、柔道部の交遊エピソードの紹介があった後、塚本先輩（前小郡市長）の乾杯の音頭で懇親会が始まり、一年振りの再会で大いに盛り上がりました。明大柔道部の全盛期を支えられた諸先輩の迫力・エネルギーを若手校友のメンバーも強く感じた一時でした。途中、上村講道館館長・全日本柔道連名監督も出席し、懇親会が一段と盛り上がりました。最後は小石原先輩の音頭により校歌斉唱で来年の再会を誓い、閉会しました。

追伸：今大会 明大OB・現役学生6名参加。

優勝者 海老沼 匡 三段（4年） 60kg級  
（2年連続 2回目）

上川 大樹 三段（4年） 100kg級  
（世界選手権 金）

(42法卒 高園 義郷)

## 第53回 駿台ゴルフ会

春の日差しが少し暑く感じられるほどの快晴微風の絶好のゴルフ日和の中、5月19日（木）第53回駿台ゴルフが小郡カンツリー倶楽部にて開催されました。

小倉、八幡、福岡、久留米、大牟田の各地域支部の皆様6組24名にて和やかに楽しくプレーが展開されました。

当日はゴルフ場のオープンコンペに全員自動参加となり、ダブルの豪華景品をゲットしようと皆さん張り切っておられました。

私も福岡の松山さん、八幡の高橋さん、久留米の末金さんの同世代の方々とワイワイとにぎやかにラウンドさせていただきました。

そのおかげが大変好調で優勝させていただくことができ、抱えきれないほどの賞品を頂きました。特に佐賀牛のお肉は家族に大変喜ばれ、しばらくは大手を振ってゴルフに行くことができそうです。あり

がとうございました。先輩方もたくさんの賞品を受け取られ、にこやかに帰られておられました。

次回の駿台ゴルフもたくさんの校友の皆さんが集い、盛大に楽しく開催され親睦が深まりますようお祈りいたします。そして、矢谷先輩、鈴木先輩他いつもお世話いただき本当にありがとうございます。

成績は以下の通りです（福岡市地域支部上位独占）

	GR	HDCP	NET
優勝	藤瀬浩幸 (S60 経営)	80	8.4 71.6
準優勝	鈴木弘幸 (S56 政経)	87	14.4 72.6
三位	光安 力 (S40 政経)	91	16.8 74.2

(S60経営卒 藤瀬 浩幸)

## 旧生田学寮のOB会

福岡市地域支部校友の皆さん、生田寮ってご存知でしたか。

昭和24年の1期生から33年入学の10期生まで、生田キャンパスの一劃に設置されていました。旧陸軍の登戸研究所のあとの建物で、木造平屋建ての棟4棟と食堂、浴室、グラウンドを備えた静かな佇まいでした。

この間、約300名の学生が在籍し、日夜研鑽、青春を謳歌していたのです。

ところがあの60年安保の激動時、全学連の一部が寮内に巣喰うところとなり、やむなく廃寮となってしまいました。

5年ほど前、それまで関東地区中心の集まりから、大学資料をもとに約230名に呼びかけ、全国から

140名の連絡が有りました。

しかし、老齢も重なり体調も優れず、参加は出来ないが、是非皆の様子を伝えて欲しいと言う声も多く、心を打たれるものがあります。OB会の会場は、関東関西に便利な伊豆箱根周辺に限られますが、夫妻参加で40名ほどが集まります。

特に一昨年は、一旦生田キャンパスに集合し、ありし日を偲びました。かろうじて、理工学部校舎前が寮棟の玄関跡と分かり、皆んな静かな思いで記憶をたどっていました。

会員の年齢も、一番若い10期生で72歳、決して増える事のない会です。

皆んなと会える楽しさという他に、当時貧しくとも、希望にあふれて過ごした青春の確な足跡を噛みしめる、と言う気持ちを強く感じたのではないのでしょうか。

寮生活の様子は、「小倉支部便り」に副支部長の矢野貞行君（32年卒）が詳しく記載されています。

今年もまた、その集いの日がやって来ましたが、この度の未曾有の東日本大震災が発生し、大学においては「明治大学被災学生支援義援金」の募集も始まり、今年のOB会は中止となりました。来年は心機一転、揃って絆を深め、寮生活で共有した掛け替えのない財産をお互いに確かめ合いたいと願っています。

(S32卒 西嶋 宏治)



旧寮玄関前 現理工学部校舎（平成21年6月）



先の県支部総会で、絹笠福岡県支部長が福岡にはこんな大先輩がおられたと話をされました。ほんの概略ですがご紹介いたします。福岡の校友としてほごりにすべき先輩です。

＜佐藤慶太郎＞

およそ90年前、東京府美術館（現東京都美術館）の建築費用100万円（現在なら約30億円）を個人で寄付した、当時「石炭の神さま」と言われた明治大学の先輩。明治元年（1868）生まれ。20歳で明治法律学校（明治大学）に学ぶ。卒業後帰郷して北九州で石炭商の道に進み財をなす。財の成し方も大変立派で、川筋男が闊歩する「飲んだ、張った」の世界には目もくれず、石炭の板目、柱目からはじめて石炭学を猛勉強する。そして「インチキのない正直な男」と信用を築いて成功。その頃読んだ、公共奉仕に生きた鉄鋼王安ドリュウ・カーネギーの「富みて死すは、富者の恥辱なり」に共感し、奉仕人生をスタートさせる。以下その「志」の履歴の一部

- ・育英資金の援助を始める（33歳）
- ・東京府美術館の建築費用 100万円を寄付（54歳）
- ・パセドー病の世界的権威野口雄三郎の別府病院に16万円を寄付（55歳）
- ・母校 明治大学女子部の建築費に6000円を寄付
- ・神田駿河台に38万円を投じ、生活訓練所「佐藤新興生活館」のビルを建てる。\*このビルは現在の山の上ホテル。
- などなど。

佐藤翁は昭和15年急性肺炎で逝去。義と情に充たされた社会奉仕一筋の73年の生涯だった。まさに私達が尊敬に値する大先輩です。

（西日本シティ銀行発行の“北九州に強くなろうシリーズ”を参考にしました。）



佐藤慶太郎 翁

野球やラグビー、サッカーなど、明大出身といえればスポーツ分野での活躍ぶりがよく伝えられる。しかし、文化・芸術分野で高い評価を受けている校友も少なくない。福岡地域支部にもプロとして、あるいはアマチュアとして創作活動に取り組んでいる校友がいる。今回、西日本新聞で紹介された2人の記事を転載してみる。

競うよりもアジアの心を



**技の現場**  
福岡の工芸

西田の展、福岡市東区... (新聞記事本文)

競うよりもアジアの心を

**陶芸 北岡 秀雄さん**  
(福岡市早良区豊原)



「作品は自分の哲学を北岡秀雄さんの『陶の家』の新作(手前下)と、鉄やアルミ板と陶をドッキングさせた作品『アツダⅢ』」 (新聞記事本文)

競うよりもアジアの心を



赴任先の風景を油絵に

中央区 古賀市の古希記念し初個展 濱小路喜伴さん (新聞記事本文)

競うよりもアジアの心を

赴任先の風景を油絵に

古賀市の古希記念し初個展  
濱小路喜伴さん



「思ひ出の作品を手には絵は自分史です」と語る濱小路さん (新聞記事本文)



## 校友紹介② 新原範昭さん

●●● Topic

magaziino

### 輸入食料品店オープンのお知らせ！

このたび、2011年5月16日、昭和60年農学部卒業新原範昭先輩が輸入食材店を警固にオープンされました。前職イタリア食材を取り扱うお仕事を長年されていたこともあり、目利きは抜群！！見ているだけで楽しくなる輸入菓子は食べても大満足な商品ばかり。お店の内装は同じく小倉支部校友：平成8年理工学部卒の古森弘一さんによるもの。おしゃれな店内に警固界限でも話題になっているようです。是非皆さまもお立ち寄りください。笑顔満点の新原店長がお出迎えます。

(H4経営卒 中村 徳子)

店名：magazzino

所在地：中央区警固2-11-19 TEL：092-731-3366

営業時間：AM10：30～PM19：30 定休日：不定休



校友の皆様のお力をお借りしてオープンできました。未永く皆様から愛される店にしていきたいと思っております。お近くにお越しの際は是非寄って下さい。



## 他支部校友紹介 大牟田地域支部 高橋 徹さん

●●● Topic

県下には、九つの地域支部がありいろいろな分野で活躍している校友がいっぱいいます。今回は大牟田の高橋校友に登場いただきました。

みなさんこんにちは。平成四年商学部商学科卒業の高橋徹です。大牟田地域支部でお世話になっております。現在、有明漬本舗の㈱高橋商店で営業部長をしております。弊社はたいらぎの貝柱や海苔の粕漬けをメインに製造しており全国の百貨店や通信販売、空港売店、駅売店等と取引をしております。近年では「ゆずこしょうを世界の食卓に！」をコンセプトとしたゆず



ゆずすこ (YUZUSCO)

すこ (YUZUSCO) という商品が好評いただき、ご当地調味料として多くのメディアに取り上げていただいております。“伝

統を大切にしながらも、過去にとらわれない自由な発想を持ち続け、すべての物事に感謝し続ける”を私自身のモットーにして日々商品開発、営業に励んでおります。世の中の価値観が大きく変化している今、仕事、地域社会など色々な場面で横のネットワークがますます大切になってくると思われま。そういう意味で校友会も一つの素晴らしいネットワークだと思います。亡父も明治大学の先輩で校友会に大変お世話になった事もあり、私自身何かでお役に立てればと考えております。どうぞ皆様今後ともよろしくお願い致します。余談にはなりますが先日韓国校友会の総会に福岡の大先輩方と一緒にさせていただき、若手代表として韓国の若手10人を相手に頑張りました！？お酒の強さにはもちろん参りましたが、彼らのハンガリー精神、エネルギーは私に大いに刺激になりました。



喜びをつくる



Matsuyama

代表取締役

松山 孝義

(昭和60年 法学部卒)

松山建設株式会社

〒810-0011 福岡市中央区高砂2-24-23  
TEL 092-533-0001 FAX 092-533-0002  
e-mail:tm1999@pop06.odn.ne.jp

明宅会

イースタン産業(株)

代表取締役 野口 順四郎

(昭和41年・法学部卒)

福岡市東区多の津4丁目8-1  
TEL (092)611-4423

丸永製菓株式会社 www.marunaga.com

MARUNAGA CONFECTIONERY CO.,LTD.

本社、工場：福岡県久留米市東橋原町1821 (電話)0942-34-3604

関東那須工場：栃木県さくら市大中511-1

営業所：東京・大阪・名古屋・札幌・仙台・広島・大分・鹿児島

代表取締役社長 永淵 俊毅

<昭和40年 商卒>



金賞受賞

MONDE SELECTION

## —— お詫びとお知らせ ——

前号(27号)、平成22年度福岡市地域支部年会費納入者一覧において、一部の方々の名前が掲載されておりませんでした。ここに改めて掲載いたしますとともに、心よりお詫び申し上げます。

平成23年度会費振込用紙はこの総会案内に同封させていただきます。地域支部活動・運営の基本となりますので何卒ご協力をお願い致します。

麻生 昭雄	大岡 賢而	小松 健	瀬戸 敏郎	内藤 龍夫	原 弘二郎	松尾 洋爾	門司 敏幸
東 秀年	大村 正孝	小石原 英照	園田 博茂	中村 淑子	広渡 恵明	牧原 陽一	山本 保平
青木 延子	大屋 湊一	小柳 平八郎	立石 傳	中倉 淳一	平岡 まち子	松田 良治	安永 富士男
井手 安美	小山田 栄	坂本 秀信	高村 和久	長坂 幸博	日高 梓	待鳥 邦夫	大和 亨
岩崎 敏幸	小野 繁	酒井 壮衛	田中 幸穂	中島 孝芳	平尾 隆彦	松尾 耕造	山崎 重喜
池田 五郎	緒方 要子	坂井 武敏	田島 隆信	中原 淳二	平山 又生	松本 優三	安武 良祐
伊藤 重行	大家 芳治	佐藤 威	高山 展誉	永松 馨子	廣瀬 修一	松原 直	山本 繁明
池田 美智雄	小野 晃弘	酒匂 輝昌	田中 久也	中村 良洋	東原 誠	松本 正剛	山田 成昭
石井 哲	奥村 勝美	桜内 良憲	田中 裕一郎	西嶋 宏治	福永 英男	松山 孝義	柳井 啓治郎
井芹 乾喜	大野 道興	坂口 憲義	田中 勝美	西村 昌史	藤永 敦彦	松山 政司	矢谷 学
井手 健	緒方 邦章	坂本 泰司	建川 聰	西井 久	古澤 英明	峯重 新二郎	山口 春幸
岩崎 明弘	王丸 傑元	佐藤 剛	高原 眞	新原 範昭	二木 清彦	宮崎 良助	山内 計壽
今留主 邦明	小野 淑史	齋藤 七平	田中 努	西山 和孝	藤瀬 浩幸	宮脇 宏彦	山田 記義
岩田 憲明	緒方 裕三	佐藤 洋	田中 邦穂	野田 武雄	藤吉 正	溝口 正憲	八尋 慶太
井上 重男	太田 秀信	佐多 浩彦	高松 康祐	野村 勇	藤野 勝也	三野原 和光	吉田 英介
伊藤 文武	鐘ヶ江 哲也	齊藤 博文	田籠 讓二	野口 順四郎	福田 康裕	峯村 映二	横山 秀司
伊東 吉之助	上村 幸夫	貞方 道夫	田籠 太郎	野口 卓	古澤 英治	光安 力	吉田 進一
今井 葉子	笠原 靖美	鷺山 陽一	橘 園一	花田 浩	藤田 一枝	三井 成隆	吉田 浩一
石井 義孝	川原 均	櫻木 慶子	高野 礼子	長谷川 敏夫	逸見 明正	箕原 秀幸	渡邊 勝三郎
鷲木 茂	神永 正夫	佐々木 義宣	高野 礼子	長谷部 総一郎	細川 政春	宮原 誠一郎	
宇野 伸明	川神 巖之	城島 宏典	津島 潔	林 文郎	本田 博志	武藤 健二郎	
占部 一雄	喜代美 一彦	塩崎 正臣	津山 武雄	萩尾 政明	増井 敦章	女賀 信治	
梅津 幸弘	木村 和彦	清水 保一	塚本 保子	橋本 敏夫	松原 徹男	森山 昌直	
上杉 鷹雄	木曾 厚三	新開 恵弑	角田 喜弘	濱小路 喜伴	松尾 勝司	森 重隆	
内田 紀生	國武 統士	式守 美代子	塚本 芳明				
内田 雄二	黒川 正道	志牟田 敏剛	津田 恭宏				
江藤 成人	熊谷 直美	神野 泰朗	鳥巢 尚吉				
遠藤 啓子	熊谷 豪博	壽崎 豪	留川 公明				
大石 秀雄	久羽 博	末森 茂	富下 雅史				
大園 勝	草場 杉夫	杉山 元治	富永 信吉				
大原 重徳	上月 武志	鈴木 弘幸	土井 経直				
小川 弘毅	小林 文雄	鈴木 康文	榎橋 直人				
荻原 弘章	小松 和夫	末廣 正雄	中津留 正成				
奥園 克彦	権藤 茂	関 順治	中野 正助				
太田 聖三	古賀 伸武	善 敏治	中村 利彦				
大塚 博暉	古賀 喜之	関 賢司					



シリーズ  
**私は誰でしょう？**  
答えは  
次ページに！

機能だけではなく、  
快適という基準  
今からのまちに必要だと思う。  
誰もが感じる気持ちよさ  
これからもいろんなところで  
カタチにしていきたい。



いつも人が  
**発想の原点。**

# どんたく通りもんに参加！いおーた祝ーた！

●●● Topic

念願のどんたく参加です。久留米地域支部の幹事長：今村健二先輩（S51年工学部卒）が、この度、博多21の会の会長にご就任（任期2011-2012年）。博多21の会とは、福岡に企業基盤を持つ経営者と文



化人の会。その会が例年参加する「博多通りもん」に参加させてもらいました。通りもんとはどんたく衣装に身を包み、

三味線隊と踊り隊、笛や太鼓を鳴らして練り歩き、「このお店、いいお店やねー、お祝いしましょう♪」と、博多の街の十数件ものお店へお祝いの舞を披露しに参ります。踊った後はお店ごとにお待ちかねのお菓子や飲み物のお振舞い♪最っ高に楽しい！どんたく前に苦勞して特訓を受けた舞も最後のお店になると淋しくて淋しくて。「祭りは参加してこそ！」まさにそれを実感したどんたくでした。祝ーたー♪

(H4経営卒 中村 徳子)

## NEWS 春の統一地方選挙で、福岡市地域支部関係で二人が当選

福岡県議会議員(西区) 田中久也氏 県議連続9期当選 / 福岡市議会議員(南区) 光安 力氏 5期目当選

### 総会・懇親会のご案内

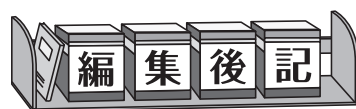
平成23年度福岡市地域支部の総会・懇親会を下記の通り開催いたします。

校友諸氏が親睦と交流を深める、よい機会と存じますので、是非ご出席下さいませようご案内申し上げます。

- 日時 平成23年9月9日(金)  
18時30分～20時30分(予定)
- 会場 セントラルホテルフクオカ 3Fダイヤモンドホール  
福岡市中央区渡辺通4-1-2  
TEL 092-712-1212
- 会費 5,000円  
(但し、女性校友及び平成16年卒以降の校友は4,000円)
- 問い合わせ先  
福岡市地域支部幹事長 矢谷 学(昭50法卒)  
TEL092-631-3336(三栄印刷)

### 答えは「小石原英照」先輩です。

小石原先輩は現在福岡市地域支部の副支部長です。昭和27年商学部卒で応援団のOB出身です。福岡商業を卒業後、一旦就職されたが、その時の上司が明治の卒業生で、とにかく勉強なさい！と口癖のようにいわれ、そのせいで昭和22年明治大学に入学したそうです。入学の時は1日がかりの上京で、4食持参で大阪までは立ちっぱなしだったが、卒業して福岡に帰る時は、もう食堂車があったとの事で、この4～5年ですいぶん日本がよくなったんですね。前ページの写真は大学1年の頃、新宿で撮った写真。(駅前らしいがあまり車も走っていない) 下の写真は六大学野球の応援風景。満員の観客のなかで団旗を持っている小石原先輩。当時はプロ野球よりも東京六大学野球が断然人気があり、後楽園でも試合をしていたそうです。



校友の皆様 暑中お見舞い申し上げます。

今年3月11日に起こった東日本大震災

は、今まで経験した事のない大惨事になりました。改めて被災に合われた方々にお見舞いを申し上げます。人間の喜怒哀楽をも一瞬にして無くしてしまう自然の大きさと人間の小ささを感じます。

さて今回28号では、東日本大震災と明治大学創立130周年を大きく取り上げました。震災関係では皆さんにご協力いただいた募金の状況やボランティア活動記、仕事上での経験を語っていただきました。創立130周年関係では、記念全国校友東京大会の「東日本の復興を願ってのチャリティー大会」と銘打って計画しているイベントなどを取り上げました。母校の発展を祝いながら、被災地

の復興を願ってのチャリティーに参加したいものです。そのほか総会や各校友の活躍を取り上げさせてもらいました。

ボランティアの記事で「がんばれ」より「共に）がんばろう」と書いてありましたが、そういう想いで私達もがんばりたいものです。今回も広告の協賛にご協力いただきました皆様に厚くお礼申し上げます。特に今回は久留米支部の永淵支部長からも広告協賛を頂きました。ありがとうございました。

編集委員長	本田 博志 (昭52法)
委員	佐野 貞和 (昭59工)
”	今井 葉子 (平4 営)
”	中村 徳子 (平4 営)
”	石迫 弘久 (平8 文)
”	女賀 信治 (平9 商)
校友会事務局	矢谷 学 (昭50法)
”	高野 礼子 (平元法)